

教養部会教授 橋本 泰幸

1. 研究活動

2. 教育活動（教育実践上の主な業績） 大学院授業担当 ■有 □無

授業科目 教科教育法の研究Ⅰ（美術）		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
明治以降の初等教育の歴史を核にしての講義だが、各時期に活躍した画家の作品や活動をDVD等で見せることにより、芸大に学ぶ学生の興味と関心を喚起した。あわせて、学習指導要領や教科書を資料として使用し学校教育と関係づけ、本講義内容が現実感あるものにした。	美の巨人、日曜美術館など市販DVD。「日本の美術教育」（橋本泰幸著、明治図書）、「ジャポニズムと日米の美術教育」（橋本泰幸著、建白社）、教科書（日文、開隆堂）	
授業科目 教科教育法の研究Ⅱ（美術）		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
ここでは美術教科の内容研究として教科書の作成を課題として取り組む。自らの学びの経験に立って、どこまで美術教育をガイドできるかを考えさせたかった。		
授業科目 造形論2（立体）		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
「学内」を設置場所に造形し、それによる環境の変化を知ることで、造形と環境、生活との関係を考えさせた。具体的な条件での造形思考を勧めた。		
授業科目 教科教育の研究（工芸）		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
生活と結びつく工芸の意味、それを教える意味を、伝統工芸に係わるDVDなど視聴覚資料を使い「目」による理解、そして「張り子」技法による制作を通して「手」による理解など、講義だけにならないように取り組む。		

3. 学会等および社会における主な活動

美術科教育学会 理事	1995～2010. 3 まで	学会運営に参加
日本教科教育学会 副代表理事 教科理事、常任理事	1997～現在	学会運営に参加